

量子化についての考え方 July 27 1961 梶田(1)

始めから量子化された理論が従来のミクロの理論

（元の：有様）

classical physical quantity

→ operator (quantization)

→ wave function → prob. ampl.

→ Wightman 型

連続性 → 微分可能性の連続性

波動

非連続性(量子性) → 連続性
量子論 → unitarity

物理の連続性領域の固定化、
prob. amplitude (unitarity)
→ correlation
indefinite metric

四次元の picture

素粒子概念以前のその
場の概念の概念を以前のその)

混沌からの出現、

連続性、

無限定 → 無限定

無限定

無限定

概念は場の概念としてとらえる

場の概念は場の概念の連続性・不連続性

理由から来る、

それ以外の不連続性・不連続性が素粒子

の存在を細かく規定することになる。

(2)

有数の問題:

Wigner's theorem 流定 作用 正負 1/2 と SL(2, C)

complementary の 表現 2C2 の universal
length, cut-off の 導入,

